

捕獲事件記録

書記	檢察官	擔任評定官	拿捕船名	受理年月日	事件番號
小邊	中村	森	英國汽船 カルソンモラー	昭和十七年一月十三日	第三三三九號
抗議期間満了日	終局年月日	訴願期間満了日	船長	及指揮官	拿捕シタル艦船部隊
昭和十七年八月二十一日	昭和十七年七月三十日	昭和十七年七月二日	ワイノコロフ	白田耕一郎	厦門方面特別根拠地隊司令官
佐世保捕獲審檢所					

内務省第三号令ヲ換案准通知又之 (一七、二二三) 事件受理及担任評
 定官指名通知

昭和十七年四月九日

依捕乙第二四一號

昭和十七年拾月拾壹日

乙 一 二 八 號

昭和十七年八月廿九日

依捕乙第六七九號

昭和十七年九月拾四日

依捕乙第七一五號

シ以テ檢査者意見書提出ノ件内閣總理大臣へ報告請

ヲ以テ事件受理ノ件内閣總理大臣へ報告請

昭和十七年七月二十日ヨリ常任ノ捕役ヲ檢定シ同年八月二十日決定

シ以テ檢査ノ件同上

昭和十七年九月十日ヨリ常任ノ捕役ヲ檢定シ同年九月十日決定

品ヲ檢査執行ノ件同上

領置物總目錄兼處分票

番 號	品 目	員 數	被 押 收 者 ノ 住 所 氏 名	領置票		處 分
				番 號	第 一 八 號	
一	船舶国籍證書	一	船長 子ジシ、ペトカウチ カインクウロフ	押 收 目 録 丁 等 數	命 令 要 旨 處 理 顛 末	昭和 年 月 日
二	無線用 航海日誌	一	同			昭和 年 月 日
三	公用 航海日誌	一	同			昭和 年 月 日
四	航海日誌	二	同			昭和 年 月 日

佐世保捕獲審檢所

番 號	品 目	員 數	住 所 氏 名	被 押 收 者 ノ	丁 等 目 押 收 ノ 簿	處		分
						官 印	命 令 要 旨 處 理 顛 末	
五	海員名簿	一	同				昭和 年 月 日	
六	出港証書	一	同				昭和 年 月 日	
七	船舶検査証	一	同				昭和 年 月 日	
八	除鼠証明書	一	同				昭和 年 月 日	

佐押第三十六號ノ日本標準規格B列五號

文 書 ノ 標 目	丁 數	備 考
拿捕船報告ノ件送付	一	
拿捕船(カルメンセラ)報告	二	
供述書	八	
船舶拿捕ニ関スル調書	九	
通事選任書(沖田春美)	三	
エンジンバトロニックダクワ聴取書	三	
拿捕船舶関係書類送付書	八	
受領書	二〇	
委託書	二	
調査書	二	
意見書	三	
公告掲載方囑託書(タイムス)	二	
申請書(書面高麗方)	五	

目録

三十一頁

番 號	品 目	員 數	住 所 氏 名	被 押 收 者 ノ	處		分
					命 令 官 印	命 令 要 旨 處 理 顛 末	
五	海員名簿	一	同	同			昭和 年 月 日
六	出港証書	一	同	同			昭和 年 月 日
七	船舶検査証	一	同	同			昭和 年 月 日
八	除鼠証明書	一	同	同			昭和 年 月 日

佐捕第三十六號ノ子
日本標準規格B列五號

文 書 ノ 標 目	丁 數	備 考
拿捕船報告ノ件送付	一	
拿捕船(カルメンセラ)報告	二	
供述書	八	
船舶拿捕ニ関スル調査書	九	
通事選任書(沖田春美)	三	
子ジントロヴィツケダノクロフ聴取書	三	
拿捕船舶関係書類送付書	八	
受領書	〇	
委託書	二	
調査書	二	
意見書	三	
公告掲示方囑託書(有根ハジヤパン)	二	
申請書(書面高麗方)	五	

目録

三十一頁

第二丁

拿捕船

カルメンヌラー

報告

第二丁

第一船舶一般狀況

項目 記 事

前所有者
船種又船名
製造年月日
拿捕經歷

エーラー汽船会社
汽船 カルメンエーラー (CARMEN MOLLER) 英國
二五七一年
一六一五解船二隻ヲ曳航シ香港ニ向ケ上海發一三九
兄弟與附近ニ於テ快成凡ニ依リ拿捕サレ一三、一〇厦根
ニ引渡完了

要	噸數		
	總噸數	登錄噸數	排水量
船ノ長	三六六.〇三七	二〇.二八七	六五〇.〇〇七
船ノ幅	四二.五米		七.九米

目	船ノ深サ	四〇米
吃水(米)	満載	艀三二米 艀三八米 艀三〇米 艀三六米
速力	景大	一〇節(良炭ヲ用ヒタル時) 九節
主機械制式馬力	ニ筒ピストン式 二基 一ニ〇馬力	
鐘制式數	円缶ニ基 圧力一四〇ポンド	
發電機數力量	ピストン式 一基	
燃料清水弄況	石炭(満載量一五〇トン) 缶水(〆ニヒ) 飲料水(〆五〇トン)	
航海	揚錨機械	ピストン式 一基
閘係	錨 錨鎖	錨錨ニ 錨鎖 右五節 左五節 全一寸
無線電信閘係	操舵装置	傳導錐ニ依ルピストン式舵取機械
		マルコニー一現在使用不能(トランスフォーマー故障)

第四丁

備	主ナル載貨	乗客	乗員	幹部	七(内露人)
			運航閘係	一〇	
考	ナシ	ナシ	事務明閘係	四	
			機閘閘係	一二	
	載貨量八〇屯	デリツク力量一屯			

第二、拿捕當時ノ情況
一、拿捕船ヲ發見シ停船セシムルニ至ル迄ノ狀況

昭和十六年十二月九日
場所 兄弟嶼ノ一五一度六理
停船セシメタル理由
英國國旗掲揚

停船セシムルニ至ル迄、被我ノ行動處置

夏根附近微痛船協成丸ハ碇石湾ヨリ厦門ニ取掛、途次十二月九日〇九〇〇前記場所ニ於テ怪船ノ南下シ来ルヲ發見シ之ニ接近監視スルニ英國汽船運貨船ニ復ラ曳航中ナルヲ判明萬國信號旗ニ依リ停船ヲ命ジタルトコ直ニ之ニ応ジタリ 依テ尚良ノ監視ノ結果該船ハ非武裝ナルヲトテ確認シ臨檢スルヲトテ航ヲ命ジ今日一一ニ厦門ニ向ケ發進セリ

二 臨檢ノ狀況

臨檢士官名 海軍豫備大尉 石井留吉

昭和十六年十二月十日

臨檢ノ狀況

船舶書類、檢査ヲ爲スト共ニ船長外職員ニ對シ所要事項ノ詢問ヲ行ヒ
船舶書類ハ押収セリ 載貨 通債 有價証券 貴重品ナシ

三 拿捕シタル理由

臨檢ノ結果香港政廳ニテ使用ナルベキ游船ニ復ラ曳航シ香港ニ赴ク英國籍船舶ナルヲトテ確認

四 拿捕後引渡迄ノ狀況

十二月九日一一ニ曳成丸ハ拿捕船ニ航ヲ命ジ厦門ニ向ケ發進同日一六三

○東旋島ノ南西方三哩ニ於テ厦根ヨリノ応援隊第三右松丸ニ出会ヒタルヲ以テ
 拿捕船ヲ護送シ同船ニ引継ギ厦門ニ取次爾後第三右松丸拿捕船ヲ護送
 シニ三三ノ外港着翌十日厦根へ引渡完了

五、其ノ他 ナシ

第三 船舶関係書類

- 一、船舶國籍證書 一
- 二、航海日誌 一
- 三、海員名簿 一
- 四、乘客名簿 ナシ
- 五、傭船契約書 ナシ

- 六、船荷證券及送狀 ナシ
- 七、載荷目録 ナシ
- 八、出港證書 一
- 九、健康證書 ナシ
- 一〇、船舶賣渡證書 ナシ

第四、其他捕獲審檢上参考トナル可キ事項

- 一、香港政廳用、舾船ニ復テ香港迄曳航、特別許可證ヲ有ス
- 二、上海出港ニ際シ航海準備金トシテ一〇〇〇元会社ヨリ受領セル又上海
 ニ於テ既ニ消費シ拿捕當時公金ヲ有セズ
- 三、今次航海出港迄、専ラ上海港ニ在リテ曳船并、港内作業ニ従
 事シ居タルモノナリ

四別紙第一號船舶拿捕之閩スル調書又別紙第二號徵備船長成凡船長
報告 添付

(終)

意見

- 一 本船ハ敵國籍ニシテ香港政廳用ニ供スベキ將船ヲ受航中拿捕サレシモノニシテ明ニ敵船ナルヲ以テ捕獲可然モノト認ム
- 二 乗員ハ克ク當方ノ指示ニ從ヒテ誓約ヲ遵守セリ船長ハ白系露人他ハ全部支那人ナルヲ以テ適當ナル時機ニ解放差支ヘナキモノト認ム
- 三 本船、廈門方面ニ於ケル監視兼港務用トシテ適當ナルヲ以テ現地ニテ使用可ト認ム

昭和十六年十二月二十五日

廈門方面特別根據地隊司令官

白田山耕一郎

第...

第八丁

供 述 書

英國汽船

カルメンモラ

一、石ハ本官ニ於テ拿捕シタルニ付捕獲審檢相成度シ
一、拿捕ノ顛末及理由ハ別紙船舶拿捕ニ関スル調書ニ記載ノ
通ナルヲ以テ該記載ヲ引用ス

昭和十六年十二月二十五日

廈門方面特別根據地隊 海軍豫備大尉 石井留吉

佐吉保捕獲審檢所長官 草野豹一郎 殿

海 軍

第 八 丁

供 述 書

英國汽船

カルメンモラ

一、右ハ本官ニ於テ拿捕シタルニ付捕獲審檢相成度シ
一、拿捕ノ顛末及理由ハ別紙船舶拿捕ニ関スル調書ニ記載ノ
通ナルヲ以テ該記載ヲ引用ス

昭和十六年十二月二十五日

廈門方面特別根據地隊 海軍豫備大尉 石井留吉

佐吉保捕獲審檢所長官 草野豹一郎 殿

第 八 丁

海 軍

此等船隻番録片身自草撰一紙

夏門方面執照船隻番録片身自草撰一紙

昭和十六年十二月二十五日

船隻番録片身自草撰一紙

一、拿麻、興木、野田、保地、頭、取、麻、關、書、信、輝、

一、或ハ本官ニ依リテ拿麻ニ付テハ執照番録片身自草撰一紙

英國船隻

英 國 船 隻 番 録 片 身 自 草 撰 一 紙

カールメンモラー

別紙第一號

船舶拿捕ニ関スル調書目

船名 英國汽船 カールメンモラー

船長氏名 ヴィノコロフ

一、昭和十六年十二月十日夏門外港ニ於テ海軍豫備大尉石井留吉ハ
夏門方面特別根據地隊司令官海軍少將島山耕一郎ノ命
ニ依リ前記船舶ヲ復檢シタリ

二、本官ハ其ノ船舶書類ヲ檢査シ尙船内ヲ搜索シタル結果
前記船舶ハ香港政廳ニテ使用サルベキ船隻コックソットソット又
ランニングライトノ二隻ヲ曳航シ香港ニ向ヘル英國汽船ニテ拿
捕スベキモノナルコトヲ確認シ司令官ノ命ニ依リ之ヲ拿捕シ
タリ

三、本官ハ拿捕當時船舶書類其ノ他一切ノ書類ヲ押収シ之
ニ封緘ヲ施シタリ 別紙目録ハ當時押収シタル書類ニシ

テ受領當時、儘毫々変更シタルコトナシ

四、載貨、通貨、有價証券、貴重品ナシ

五、本官ハ船長ニ対シテ前記船舶書類ニ対シ、船長、封印ヲ

求メタリ

六、本官ハ本調査書ニ通テ作成シ一通ハ署名シテ之ヲ船長

ニ交付シタリ

昭和十六年十二月十一日

廈門方面特別根據地隊

浪檢士官 海軍豫備大尉 石井留吉

別紙第二號

昭和十六年十二月十日

徵傭船協成丸船長 木林 長八

廈門方面特別根據地隊參謀殿

拿捕船ヲ發見シ停船セシムルニ至ル迄ハ狀況報告

(一) 拿捕年月日 昭和十六年十二月九日

(二) 拿捕船舶名 CARMEN MOLLER. NON 外重油運搬船ニ隻

(三) 場所 廈門港南方岸兄弟嶼ノ一五二度約六哩ノ沖合

(四) 停船セシメタル理由

(一) 八日午前十時四十五分畏クモ對英米宣戰布告大詔煥發アリ

(二) 敵國ノ國旗掲揚シ重要ナル燃料運搬ノ軍事行動ナル事

(三) 自船ハ廈門根據地隊司令官麾下ニ於テ作戰ニ從事中ノ

處置トシテ

五) 停船ニ至ル迄、彼我ノ行動處置

本船ハ碇石湾ニ於ケル任務ヲ遂行シ厦門ニ向ケ取港中九日午前九時頃ヨリ怪船ノ南下シ来ルヲ發見シ是レガ監視ニ努メタルニ同九時五十分敵國商船ヲシク認メタリ。依ツテ本隊ニ報告ノ必要アリ確實ナル視認ヲ得ル可ク同時本船ハ敵船ノ右舷前方ニ向ケ全速力ニ突進シ同十時十五分コレニ至リ敵ノ態度ヲ監視スルニ全ク仇敵英國船ニシテ無防禦ヲシク尚本船ハ右方ニ急回轉ヲナシ之ヲ一周シ被曳船ノ二隻ニ付キ様子ヲ觀察スルニ全ク無防禦ト認メタリ

依ツテ敵船ノ左舷後方ヨリ曳船ニ接近シ信號(ON)ヲ掲揚シ停船ヲ命ジタリ。彼ハ直ニ回答シ機関ヲ停止セリ依ツテ彼我ノ距離ヲ充分ニ保ツコトニ努メ暫時彼ノ態度ヲ監視スルニ反抗ノ様子ヲナシト確認セ

シタメ信號(JT)(AAMQ)ヲ掲揚シ我ニ統航ヲ命ジタルニ直ニ回答旗ノ全揚ヲ認ム。依ツテ我レハ小銃ヲ携ヘタル武装兵一名ヲ敵船ノ見易キ對舷ノ船橋ニ現ハシテ之ヲ威圧シツ、彼ノ左舷側ヨリ前面ヲ接近シテ轉回シ統航ヲ指示セルニ怪シキ態度ヲ示シタルニ依リ直ニ急回轉シテ小銃ニ發射撃スルニ狼狽シテ十一時十二分我ガ命ニ服シ統航シ得ルニ至ラシメタリ。同時沖合ニ黒煙ヲ發見シ近寄ル船ヲ認メタルニ敵ノ護衛艦艇ノ事ヲ考慮シ本隊ニ拿捕報告スルト共ニ應援ヲ依頼セリ。同時信號(B)ヲ掲揚シ全速力ヲ命ジ時速七哩ニテ續航セシメ午後五時三十分東提島ノ南西方三哩ニ至リ本隊ヨリノ應援艇ニ出會ヒテ拿捕艇ヲ應援隊ニ托シ辛クシテ拿

捕完成セリ。我ハ直テニ報告ノタメ廈門ニ向ケ先航
セリ

六其ノ他

本船速カラ示シ彼レラ威一圧スルニ武装兵ヲ現シテ是レ
ヲ強化シ外本船ノ微備船番荒等ニ依リ我ノ武器整
備如何ニ付キ彼ノ想像恐怖心ヲ利用シ得ルタメ成
ル可ク彼我近距離ヲ避ケルニ努メ以テ本船ノ武器ト
セリ

被捕獲船ハ約六百五十噸ノ汽艇 八百五十噸搭載ノ
重油タンク船ニ隻上海ヨリ香港ニ向ヒツ、アリシモ
ノナリ

(終)

通事 選 任 書

興亞院通譯囑託 沖 田

善

善

右者本件ニ付利害 關係ナキコトヲ確メ通事ニ選任ス

昭和十七年二月 四 日

於廈門海軍軍法會議

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐世保 善

第三二丁

捕完成セリ。我ハ直テニ報告ノタメ廈門ニ向ケ先航セリ

六其ノ他

本船速カラ示シ彼レヲ威圧スルニ武装兵ヲ現シテ是レヲ強化シ外本船ノ微傭船番籠等ニ依リ我ノ武器整備如何ニ付キ彼ノ想像恐怖心ヲ利用シ得ルタメ成ル可ク彼我近距離ヲ避ケルニ努メ以テ本船ノ武器トセリ

被捕獲船ハ約六百五十噸ノ汽艇 八百五十噸搭載ノ重油タンク船ニ隻上海ヨリ香港ニ向ヒツ、アリシモノナリ

(終)

通事選任書

興亞院通譯囑託

沖田

善

善

右者本件ニ付利害關係ナキコトヲ確メ通事ニ選任ス

昭和十七年二月

四日

於廈門海軍軍法會議

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐世保

捕完成セリ。我ハ直テニ報告ノタメ廈門ニ向ケ先航
セリ

六其ノ他

本船速カラ示シ彼レヲ威圧スルニ武装兵ヲ現シテ是レ
ヲ強化シ外本船ノ微傭船番籠等ニ依リ我ノ武器整
備如何ニ付キ彼ノ想像恐怖心ヲ利用シ得ルタメ成
ル可ク彼我近距離ヲ避ケルニ努メ以テ本船ノ武器ト
セリ
被捕獲船ハ約六百五十噸ノ汽艇 八百五十噸塔載ノ
重油タンク船二隻上海ヨリ香港ニ向ヒツ、アリシモ
ノナリ

(終)

通事 選 任 書

興亞院通譯囑託 沖 田 善

右者本件ニ付利害 關係ナキコトヲ確メ通事ニ選任ス

昭和十七年二月 四 日

於廈門海軍軍法會議

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

佐世保 佐野 隆

第三丁

勳五等瑞宝章

勳五等瑞宝章

勳五等瑞宝章

敬啟者

昭和十一年二月 四日

本署本件ニ付既書 關尉七キエイニ對シテ既書ニ對シテ

興亞砲隊編製部 田 善

既書 對 丑 書

聽取書

カルムンニスル 捕獲事件ニ付昭和イニ年

ノ月 日 廈門海軍分會 於テ

評定官 雄ニ對シ

フージンベトクジイワケジイニシテノ爲シタル申供左ノ如シ

一 氏名ハ フージン PETROVITCH VINOKEK ROFF

一 年齢ハ 八歳

一 職業ハ 船長

一 國籍ハ ロシヤ(白系)

一 住所ハ 上海 MAGNIN SHANGHAI

一 所在ハ ロシヤクワンスタット (KRONSTADT, RUSSIA)

一 備考ハ 現在ハ軍人デアリタルカ。

一 佐世保捕獲審檢所

CARMEN MOLLER

一 一九〇一年十一月一日以所獲船長ヲ
シテ名ノラス

船主

右稱ハ モラー・ライン・コムパニー

MOLLER LINE CO. LTD.

国籍ハ 英國

本船所在地ハ 上海、香港、上海銀行ビルディング内

HONGKONG & SHANGHAI BANK BUILDING, SHANGHAI.

一 船名ハ 海運者

一 船主ハ 海運者

一 カルメン・モラー

一 船名ハ 海運者

一 船主ハ 海運者

第九號ノ一 日本標準規格B列四號

第一四丁

船名ハ 海運者

一 船主ハ 海運者

一 船名ハ 英國

一 船主ハ 英國

一 船名ハ 英國

一 船主ハ 英國

一 船名ハ 英國

一 船主ハ 英國

一 船名ハ 英國

一 船主ハ 英國

一 船名ハ 英國

一 船主ハ 英國

今捕着時船の書類は湯浦に落ちた。ソレヲ天等ノ書類ハランニング、ライト、コフトン、ライトノ書類ニ於テ戻リテ於テ日本海軍士官ニ探知シ

マシタ。製造破産等百五ノ書類ハ了了又。

今捕着時船の破損品、他ノ異状ハ了了又ソレ

今捕着時船ハ用敵ノ軍用ヲ知リ又又テシタ、

無線電信機が破損シテ船中ノテ敵軍が始マ

コトノ報知ヲ受ケテカワタノチス、

今捕着時船の書類等ニ變動ヲ受ケテハ了了又

又

為イテ船中ノ書類、ランニング、ライト及コフトン、ライトノ書類

船中ハ、エラー、ライヴ、コルパ、

総噸數ハ、四又七噸

回籍ハ、英、回

揚揚ノ権利ヲ有スル回籍ハ、英、回、旗、了了又



右ハ書記之ヲ録取シ本人ニ讀聞カセタルニ相違
ナキ旨陳述シタルニ依リ共ニ署名捺印ス

前同日同所ニ於テ

佐世保捕獲審檢所評定官

佐世保 佐世保



佐世保捕獲審檢所書記

山邊九之助



通

事 仲田春彦



申

供

者

E. Nishikawa

Faint, mostly illegible text in vertical columns, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

厦門機務部第一號

昭和七年十二月二十五日

厦門方面特別根據地隊司令官

佐世保捕獲審檢所長官殿

左件送付

拿捕船舶關係書類別紙一通送付致候
(別紙添)

送

110 F. 10

Handwritten signature and text in cursive script.

Vertical handwritten text on the right side of the page.

Received date: 昭和十七年三月二十二日

Handwritten text: 一 英國汽船カルメン、モラー

Vertical text at the bottom right: 捕獲事件ニ付

一 號

51 (Numbered stamp)

委託書 (Entrusted Document)

一 英國汽船カルメン、モラー

捕獲事件ニ付 (Regarding the capture case)

引渡ヲ受ケ候様貴廳ニ於テ御保管相成度此段委託候也

昭和十七年三月二十二日 佐世保捕獲審査所長官 草野 豹一郎

佐世保鎮守府司令長官 谷本 馬太郎 發

本件領收ス (Received for this case)

昭和十七年三月二十二日

佐世保鎮守府 (Zoseiho Garrison)

115

昭和十七年三月二十二日

佐世保捕獲審檢所令委員谷 本 課 大 浪 課

送附船難秘審前報委員 草 理 際 一 限

昭和十七年三月二十二日

佐世保捕獲審檢所令委員谷 本 課 大 浪 課
送附船難秘審前報委員 草 理 際 一 限
一 英國汽船「カスガ」号、三月二十二日、佐世保港に到着し、船難秘審委員より、船中乗客の調査を依頼せられたる事、

送 附 書

船難秘審前報委員 草 理 際 一 限

二 限

佐捕乙第二〇〇號

第三三三九號 調 査 書

カルメン・エロー
捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ

テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部
述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條

付辺書ノ陸屢書類相添へ別冊記録及送付候

昭和十七年三月二十八日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

長 藤 雄

佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中

佐捕第一四四號 日本標準規格B列五號

11/15

十七年三月二十日

海軍省海軍部司令部 本 課 本 課 長 殿

海軍省海軍部司令部 本 課 長 殿

昭和十七年三月二十二日

海軍省海軍部司令部 本 課 長 殿

海軍省海軍部司令部 本 課 長 殿

海軍省海軍部司令部 本 課 長 殿

二 課

佐捕乙第二〇〇號

第三三三〇號

調 査 書

カルメン、スロー
捕獲事件ニ付事實ノ調査ヲ
了ヘタルヲ以テ之ガ取調書類ハ拿捕シタル艦船部
隊指揮官ノ供述書ト共ニ別冊記録ニ編綴致置候條
供述書ノ附屬書類相添ヘ別冊記録及送付候

昭和十七年三月二十八日

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

長 藤 雄 生

佐世保捕獲審檢所檢察官

御 中

佐捕第二十四號 日本標準規格B列五號

對州對縣警察署對案官

中

對州對縣警察署對案官

對州對縣警察署對案官

昭和十七年四月八日

本件事案ヲ精査致候處右ハ敵船ナルコト

明ナルヲ以テ捕獲ストノ檢定可相成モノ

ト思料候也

關 査 書

意見書

英國汽船 カルメン

敵船ナルコト

捕獲ストノ檢定可相成モノ

ト思料候也

昭和十七年四月八日

佐世保捕獲審檢所

檢察官

德永 榮吉



檢察官

静 燈 殿

佐世保捕獲審檢所

擔任評定官

静 燈 殿

南洋通商船隻検査官

南洋通商船隻検査官

昭和十七年六月八日

恩林刻出

南洋通商船隻検査官
本件検査官検査官検査官

意只書



339

本件ニ付昭和十七年五月二十五日佐藤乙第三九〇號ヲ以テ内閣印刷局
官報部官報係並ニ「ジャバパンタイムス」社ニ左記要領ノ公告掲載方ヲ
囑託シタリ

昭和十七年五月二十五日

佐世保捕獲審檢所

記

本件船隻ハ昭和十六年十二月十日厦門外港ニ於テ帝國海軍ノ爲
拿捕セラレ當處ニ於テ毒檢ヲ爲スニ依リ利害關係人ハ公告ノ翌日ヨ
リ起算シテ三十日以内ニ書面ヲ以テ當處ニ辭願スルコトヲ得
右公告ス

昭和十七年六月二日官報並ニ「ジャバパンタイムス」ニ公告掲載
済

2R

申請書

捕獲事件第三三九號

右事件ニ付利害關係人ヨリ法定期間内ニ訴願書ノ提出
ナキヲ以テ審問ノ手續ヲ爲サス直ニ檢定相成度候也

昭和十七年七月二十一日

佐世保捕獲審檢所檢察官



佐世保捕獲審檢所長官 草野豹一郎殿

佐世保捕獲審檢所

報告書

本件秘定書牘本ハ昭和十七年八月一日當廳檢察官ニ
送付シタリ

昭和十七年八月一日

佐世保榎審檢所

書記山下久志



二六

第三三九號

本件ニ付昭和十七年九月四日佐捕乙第六八九號ヲ以テ内閣印刷局官報部官報係ニ檢定並ニ該檢定ハ昭和十七年八月二十二日確定シタル旨掲載方囑託ヲ爲シタリ

昭和十七年九月四日

佐世保捕獲審檢所

昭和十七年九月十日官報掲載

昭和十七年九月十四日官辨

世 田 龍 齋 齋 齋

昭和十七年九月十四日

官辨

本件ニ付昭和十七年九月十四日官辨ニ依リ貴廳衙ニ於テ保管ノ

第三号

控

佐捕甲第一五五號

英國汽船カルメン・モラー號

別紙檢定書ノ通捕獲ト檢定相成確定候條捕獲
審檢令第二十九條ニ依リ貴廳衙ニ於テ保管ノ
儘執行トシテ及引渡候

昭和十七年九月十四日

佐世保捕獲審檢所

檢察官 徳永 榮 吉

佐世保鎮守府司令長官 谷本 馬 太 郎 殿

二八

號外第四號 日本標準規格B列五號

一 搭載物件 ナシ

一 拿捕 (イ) 日時場所 十六、十二、一〇、厦門外港ニ於テ
(ロ) 拿捕者 厦門方面特別根據地隊海軍豫備大 石井留吉

受 領 書

(事件第三三九號)

英國汽船カルメン・モラー号

右捕獲事件確定確定ノ上執行トシテ引渡ニ付檢定書ノ謄本ト共ニ受
領致候

昭和十七年十月三十一日

海軍省兵備局長保科善四郎

佐世保捕獲隊事務所

檢察官 徳永英吉殿

海 軍

Registered 2000 - Owner 16 10 17



東京府墨田区錦町
日本郵便株式会社
東京府墨田区錦町

東京府墨田区錦町

明治三十九年七月廿一日

英園紙器ケイメン・カール一號

大正十一年七月廿一日

(昭和十一年七月廿一日)